

RF Vision Battery 取扱ガイド



RF Vision バッテリーの充電／取扱について

1. 使用している充電器が製品付属の AC アダプタまたは 5V 2A(2000mA)相当であることを確認してください。スマートフォン用充電器やコンピュータの USB ポートなどで十分な電流を供給出来ない場合、充電時間が大幅に増加するか、まったく充電できないことがあります。
2. 充電器に接続後、電源ボタンの LED 表示により、次の 3 つのモードのうち、いずれかの充電状態を確認することができます。緑色に点灯し、押すとすばやく点滅する(深放電/トリクル充電)、それ自体で点滅する(通常の充電状態)、または押したときに点滅しない緑色の点灯(完全に充電され、すぐに使用できます)。LED の動作がこれらと異なる場合、またはプラグを差し込んでもまったく点灯しない場合は修理が必要な場合があります。
3. LED が緑色に点灯し、電源ボタンを押すとすばやく点滅する場合、バッテリーは「深放電モード」になっています。バッテリーの損傷を防ぐためにゆっくりと「トリクル充電」する必要があるため、数日間(電源ボタンを押したときに点滅しなくなるまで)充電器に接続したままにしておく必要があります。トリクル充電モードとなっている状態で充電器を取り外して電源を入れようとすると、バッテリーを完全に消耗してしまうことがあります。充電状態の確認は、電源ボタンの LED により確認してください。
4. RF Vision 使用後に充電せず、何週間も充電しないで放置するなどによりバッテリーが完全に消耗すると、深放電モードになります。使用後は必ず充電し、長期間使用しない場合は充電器に接続したままにしてください。バッテリーにはスマート充電回路があり、過充電の心配はありません。
5. 充電器に接続したとき LED が自動的に点滅している場合は、正常に充電されています。RF Vision 内蔵バッテリーは、スマートフォンやタブレットなどの家電製品のバッテリーよりもはるかに大きく、充電に時間がかかります。使用前に通常 12 時間の充電を行い、点滅が止まり LED が緑色に点灯するのを待ってから、電源ボタンを押しても点滅しないことを確認してからご使用ください。
6. ツールを発電機またはインバータに接続する場合は、「純粋な正弦波」タイプであることを確認してください。矩形波や疑似正弦波の発電機やインバータに接続した場合、RF Vision に損傷を与える可能性があります。